

04 自治税務局

自治税務局市町村税課諸税係長
併任 大都市税制係長
渡邊 雄太

時に支え、時に支えられながら。



■ 仕事の内容

税の役割

自治体の提供する教育、福祉、消防などの行政サービスにはお金がかかります。そのため、自治体はいろいろな方法によりお金を集めますが、その中で重要なものの1つが税です。私の職場では、この税の中でも、地方税である市町村税の制度設計などを業務としています。

今年行った大きな制度改正として、軽自動車税の見直しがあります。昭和59年以来30年ぶりの税率の見直しであったこともあり、与野党、関係省庁、業界団体を巻き込んで激しい議論が行われ、その様子は連日ニュースや新聞に取り上げられました。自分の仕事が社会に与える影響の大きさを実感しました。

税については、様々な意見があります。厳しい批判を受けることもあります。行政サービスを確実に実施し、国民の生活を充実させる税の役割を考えれば、その必要性を訴え、またこれを守るために汗を流す今の仕事は、とてもやりがいがあると感じています。

■ 総務省について新規採用者へ伝えたいこと

人と人とのつながり

総務省では、本省採用の職員他、自治体から出向という形で総務省に来て、一緒に働いてくれる職員がいます。また、我々も自治体に出向する機会があります。こうした中で、自治体の職員と一緒に働きながら親交を深めることは、地方と向き合いながら仕事をする総務省の職員としてとても大切です。

私は今でも、以前一緒に働いた自治体の職員に仕事の相談をしたり、上京した際には一緒に食事に行きます。私が旅行などで訪ねた際に現地を案内してもらったことや、家に泊めてもらったこともあります。国と地方という肩書きの違いはあっても、会えば昔のように笑いながら肩をたたき合える仲間が全国にいると思うことで、いつも勇気づけられています。

東日本大震災を経験し、絆の大切さを改めて学んだ私たちですが、総務省の仕事も、人と人とのつながりによって成り立っています。全国に広がる縁を支えられながら働くことができます。これが総務省の魅力だと思います。

■ PRIVATE TIME

最近、カメラを始めました。もともと旅行先の風景などを写真に撮るのが好きでしたが、一眼レフのデジタルカメラを購入し、家の周りの何気ない景色なども写真に納めています。見慣れた街並みも、立ち止まってよく見ると、いつもと違った印象を与えてくれます。気分も新たに、また頑張れる気がします。



■ PROFILE

Yuta Watanabe

平成19年 4月	総務省採用
	自治財政局財政課総務室
平成20年 4月	自治財政局公営企業課
平成21年 4月	和歌山県総務部総務管理局市町村課
平成23年 4月	総務省大臣官房総務課国会連絡室
平成25年 4月	現職

とある 一週間

■ MONDAY

局内の週間予定を確認。議員事務所からの問い合わせに対応。

■ TUESDAY

上司から担当税目の論点整理と資料作成の指示を受け、長の手持ち資料を作成。係内で検討。

■ WEDNESDAY

翌日の国会で答弁をする局

■ THURSDAY

答弁をする局長を国会中継で見守りつつ、火曜に指示のあった資料作成。

■ FRIDAY

作成した資料を上司に説明。無事に終了。打ち上げの飲み会へ。

自治行政局

自治財政局

自治税務局

消防庁